

平成26年1月22日

報道機関各位

公益財団法人 東北活性化研究センター
「植物工場セミナー」の開催について（ご案内）

公益財団法人東北活性化研究センター（会長 高橋宏明）は、「知をつなぎ、地を活かす」を活動理念として、総合的な地域整備や地域・産業活性化に関する調査研究、プロジェクトの発掘・支援などを通じて、東北地域の活力向上と持続的な発展に寄与していくことを目指しております。

このたび、当センターでは 2月19日（水）、新潟市の新潟県工業技術総合研究所において『植物工場セミナー～植物工場の実態と今後の市場展望～』と題したセミナーを開催いたします。

新潟県では、新潟県工業技術総合研究所が発足した「植物工場研究会」を通じ、農業と工業を融合した新しい技術や産業の展開として、植物工場ビジネスの創出に向けた啓発活動に取り組んでいます。

今回のセミナーを通じ、企業等が植物工場に関わる設備・生産技術や販路開拓の動向について理解を深め、今後の参入を考える機会になればと考えております。

つきましては、本セミナー開催にあたり、ご来聴ならびに貴社報道におけるPR、取材等につきまして、格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

なお、ご取材の際は下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

記

- 1 日 時 平成26年2月19日（水）13：30～16：30
- 2 会 場 新潟県工業技術総合研究所 講堂
- 3 後 援 新潟県、公益財団法人にいがた産業創造機構
- 4 参加者 県内自治体、経済団体、新潟県工業技術総合研究所「植物工場研究会」会員企業、大学・研究機関等 約80名
- 5 プログラム
 - (1) 「植物工場（太陽光利用型、人工光型）の技術開発と将来展望」
千葉大学大学院園芸学研究科 教授 後 藤 英 司 氏
 - (2) 「低カリウム野菜の開発と販路開拓」
会津富士加工株式会社 代表取締役社長 松 永 茂 氏
 - (3) 「イオンが求める農産物」
イオンリテール株式会社
食品商品企画本部 農産商品部 部長 室 井 英 男 氏

[添付資料]

- ・植物工場セミナー 案内・申込書

（連絡先） 公益財団法人東北活性化研究センター 地域・産業振興部 木村・佐々木
電話 022-222-3357 Fax 022-225-0082
ホームページ：<http://www.kasseiken.jp>

公益財団法人東北活性化研究センター

植物工場セミナー in 新潟

～植物工場の実態と今後の市場展望～

気象条件に左右されにくく、生産性の向上と安定供給が可能な植物工場は、農業の六次産業化や東日本大震災後の被災地復興支援の手立てとして企業の参入が相次いでいる反面、電気代、空調費などの生産コスト、栽培品目の多様化・高付加価値化、一定品質の物を量産化するための技術の確立、販路の開拓など、多くの課題があるといわれております。

公益財団法人東北活性化研究センターでは、企業等が植物工場に関わる設備・生産技術や販路開拓の動向について理解を深め、今後の参入を考える機会として、標記セミナーを開催致します。

日にち：平成 26 年 2 月 1 9 日（水）

時 間：13：30～16：30（受付開始 13：00）

場 所：新潟県工業技術総合研究所 講堂

（〒950-0915 新潟市中央区鏡西 1 丁目 1 1 - 1 TEL025-247-1301）

プログラム

1. 「植物工場(太陽光利用型、人工光型)の技術開発と将来展望」
2. 「低カリウム野菜の開発と販路開拓」
3. 「イオンが求める農産物」

後 援：新潟県、公益財団法人にいがた産業創造機構

参加費：無料（事前申込制 定員 80 名）

～申込方法～本票裏の参加申込欄に必要事項を記載いただき、FAX 又は E メールにて担当者宛まで送信ください。

（申込〆切日：平成 26 年 2 月 12 日（水））

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

「植物工場(太陽光利用型、人工光型)の技術開発と将来展望」

千葉大学大学院園芸学研究科 教授 後藤 英司 氏

1983年東京大学農学部卒業。1986年東京大学農学部助手、1997年東京大学農学生命科学研究科助教授等を経て、2005年千葉大学大学院園芸学研究科教授、現在に至る。専門は、園芸施設内の環境調節工学、植物工場における生育制御、植物工場を用いた薬用植物・医療用遺伝子組換え植物の生産、など。受賞は、論文賞2件(生態工学会、日本農業気象学会)、学術賞3件(日本農業気象学会、日本植物工場学会、日本生物環境工学会)、など。

「低カリウム野菜の開発と販路開拓」

会津富士加工株式会社 代表取締役社長 松永 茂 氏

明星大学理工学部卒。1978年富士加工株式会社会津工場(現会津富士加工株式会社)入社。取締役事業部長、常務取締役等を経て、2013年6月代表取締役社長に就任、現在に至る。半導体製造を中心に事業を行ってきたが海外進出等で衰退したため、2010年10月閉鎖型植物工場でのレタス生産を開始。2012年2月からは腎臓病患者向け低カリウムレタスの栽培に着手。1日200株を生産し、関東地方の百貨店で販売しているほか、病院やレストランのメニューに取り入れられている。現在、自身が発明した「低カリウム含有野菜及びその栽培方法」について特許出願中。

「イオンが求める農産物」

イオンリテール株式会社 食品商品企画本部 農産商品部 部長 室井 英男 氏

1987年入社。2004年関東カンパニー食品商品部 農産MGR、2008年関東カンパニー新潟商品部 部長、2009年関東カンパニー北関東商品部 部長等を経て、2011年食品商品企画本部 農産商品部 部長。現在に至る。

-----参加申込書-----

送信先 公益財団法人東北活性化研究センター地域・産業振興部 担当:木村 宛
FAX 番号 022-225-0082 E-mail:chisan@kasseiken.jp

企業名		
送信者	所属・役職	氏名
連絡先	TEL	FAX E-mail
参加者	所属・役職	氏名
	所属・役職	氏名
	所属・役職	氏名